

平成30年 重点3課題に対する小・中学校，中等教育学校シートⅡ(3) <年度末用>

新潟市立庄瀬小学校 (学番：1603)	重点 3課題	②自律性と社会性を育む生徒指導の推進
------------------------	-----------	--------------------

判断基準	A : 具体的な活動がなされて目標が達成できた
	B : 具体的な活動はなされているが，目標は達成できていない
	C : 具体的な活動がなされておらず，目標も達成できていない

1 自己評価

<評価> A	<根拠> 児童アンケートを加味した教師の分析評価では「自分や友達のよいところが分かる」と肯定的にとらえている評価できる児童は99%，児童アンケートで「自分はクラスやひまわり班で役に立ったり，必要とされたりしている。」と肯定的にとらえていると評価している児童の割合は95%であった。 教科，帰りの会，行事の後など学校生活の様々な場面で互いのよさや頑張りを認め，伝え合う活動を継続的に行ってきた成果だと言える。
---------------	---



2 学校関係者による評価と意見

<評価> A	<意見> 学校でも家庭でも，いじめや虐待など，子どもの人権が妨げられることがなければまずはよい。あとは，どのように社会性を身に付けていくかがポイントになると思う。 中学校で不登校になる子どもなど，慣れ親しんだ環境や人間関係の中では，うまく対応できるが，環境が変わり，大きな集団になったときに，社会にとけ込めず，うまく適応できないことがあることも事実である。心のたくましい子どもになってほしい。
---------------	--



3 自己評価及び関係者評価に基づいた改善策

<p>学級やひまわり班など，様々な場面で一人一人が大切にされ，互いの良さを認め合える支持的風土が全校にある。子ども同士，安心して，思いやりをもってかかわる姿も多く見られる。毎日の授業や帰りの会でのほめ合い活動，全校登山・ひまわりフェスティバル，ひまわり長縄大会などの行事で，一人一人が活躍できる場を設定した上で，良さを伝え合う活動を多く取り入れてきた成果と言える。また，担任だけでなく，全職員が子どもたちに声を掛けたり見守ったりしてきたことは，子どもが安心して学校生活を送ることにつながっていると考えます。</p> <p>今後も，子どもたちの温かい人間関係作りを継続していくために，今年度の取組を継続していく。さらに，来年度は，ひまわりタイムにペア学年活動も取り入れるなど，様々な集団でのかかわり合いの場を設けていきたい。そして，より多くの人とかかわり合うことで，より自信をもって活動できるようにしていく。</p>
